【消費生活の窓口から】 サンプルのはずが意図せぬ定期購入に

～注文品以外のものを勧められたときは、よく確認しましょう！～

新聞の広告やテレビショッピングなどの電話注文時に、別の商品やサンプル等を勧められ承諾したところ、そちらが主契約の定期購入になっていたという相談が寄せられています。

〈事例〉新聞の折込広告で通常の半額の「拡大鏡」を見つけ、販売業者に注文の電話をした。その際「目に良いサプリメント

のサンプルを送る」と言われた。後日拡大鏡とサプリメントが届いたが、同封の「明細書兼請求書」には、拡

大鏡が「プレゼント」、サプリメントが約3千円と記載されていた。その後2カ月連続、同じサプリメントが届い

たので、おかしいと思い「明細書兼請求書」を改めて確認すると「1年定期」と記載があった。注文した覚えはな

い。(80歳代)

【アドバイス】

◆たとえサンプルであっても注文品以外のものを勧められたら、興味がなければきっぱり断り、興味を持った場合も、定期購入になっていないか等の詳細を確認し、説明が理解できなければ断りましょう。

◆商品到着後は、明細書などで定期購入契約になっていないか確認することが大切です。意図せず定期購入になっていたら、すぐに、販売業者に申し込んでいないことを伝えましょう。

◆困ったときは、消費生活相談窓口か消費者ホットライン^{いやや}188(局番なし)に相談しましょう。

※詳しくは、国民生活センターホームページ「[サンプルのはずが意図せぬ定期購入に\(PDF\)](#)」、「[【『おトクにお試しだけ』のつもりが『定期購入』に！？\(No.3\)】テレビショッピングなどをみて電話で注文したら、意図せず『定期購入』に！？-『サンプル』『おまとめコース』などを勧められても要注意！-](#)」をご覧ください。

※ご相談・お問い合わせ先

中山町消費生活相談窓口(住民税務課 住民G内) ☎662-2593